

かえる便り 28年29号

平成29年1月24日

厳寒の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

高校生が 一番重きをおかなければならないのは学業 です。部員達の取り組みを見ていると中途半端な者が多くいます。彼らには共通していることがあります。“人の話を真剣に聞いていない”、“事に当たる前の準備が不足している”ということです。準備することの重要性に気が付けば、自ずと心構えは変わると思います。

何かをする場合、“何をどのように準備するか”という“心構え・意識”がすごく重要です。準備が不十分な人、何を準備してよいか分からない人が成功するでしょうか？80歳でエベレスト登頂した“三浦雄一郎”さんは、成功させるために30kgのリュックを背負い足に5キロの重りをつけ週に4日、4時間から8時間歩いていたそうです。“〇〇したい”と“〇〇を必ずやり遂げる”では、心構えや意識に大きな差があるから、準備の仕方が異なります。準備することの重要性に気付いてほしい!!



卓球の全日本選手権で平野美宇選手（16歳）が史上最年少優勝をしました。彼女は大会前から女王石川選手に勝てると言っていました。勝つために最善の練習をし、自分自身に自信をもって大会に臨んだのではないのでしょうか？明確な目標を持ち、段階を踏んだ万全の準備をして来たと思います。目標・準備・実行・反省（分析）を日々行いましょう！

大相撲の初場所で 大関 稀勢の里 が優勝し、19年振りに日本人横綱が誕生しそうです。彼は中学校の卒業アルバムに下記のような言葉を綴っています。

天才は生まれつきです。

もうなれません。

努力で天才に勝ちます。

凡人や弱者が成功するには、 一時に一事（一点集中） コツコツ努力 することしかないのです。今回の優勝は横綱二人が休場する“運にも恵まれた”ものですが、15歳の時に言った“天才に勝る努力”を継続したことが運を呼び込んだと思います。